

## なわて BOOKS【2021年11月号】

今月も恵文社一乗寺店の藤林さんが、季節にあった素敵な絵本の選書をして下さいました。この「秋」オススメの絵本5冊はこちらです。

『はるとあき』 作： 齊藤 倫 うきまる 絵： 吉田 尚令 出版社： 小学館



お互いに姿を見たことがない春夏秋冬の「はる」と「あき」が、往復書簡をはじめめる物語。「はる」は桜やいちご、「あき」は紅葉やきのこなど、相手の知らない自分のことを教えます。「なつ」と「ふゆ」は対照的にお互いのことへ強い関心は無く、その性格の違いも面白いです。春夏秋冬の擬人化に加え、手紙をかく喜び、自分の知らなかった世界に触れる新鮮さ、顔の見えない相手との友情が非常に上手く表現された絵本だと思います。

『オーケストラ 世界の町で楽団員をさがそう!』

作：クロエ・プラルノ 訳：うちだ さやこ 出版社：アノニマ・スタジオ



マエストロとアシスタントが、バカンスに出かけてしまった楽団員からのハガキを頼りに世界中を大搜索。隅々まで描かれた街並みと大勢の人々から、楽器を持った楽団員を見つける「探す絵本」です。バカンス先もアイスランド、日本、ポルトガル、ロシア…と様々で、国ごとに風景や人々の様子が違うのも興味深い。クラリネット／オーボエ／ファゴットなど、実物でも中々見分けるのが難しい楽器もありますが、興味を持つきっかけになれば嬉しいなと思います。

『ともだちのいろ』 作：きくち ちき 出版社：小峰書店



緑色のカエル、赤色の鳥、青色のトカゲ。さまざまな色の友達が犬のくろちゃんに「なにいろがすき？」とたずねると、そのたびにくろちゃんは相手の色と同じ色を答えます。しかし最後にみんなから「なにいろがいちばんすき？」と聞かれて困ってしまうくろちゃん。考えた末「ともだちいろ！」と答えます。作者のきくちちきさんは、前作の『おひさまわらった』では木版画による鮮やかで大胆な構図が印象的でしたが、今回は墨絵のようにやわらかな輪郭で、心のやさしいくろちゃんとその友達が表現されています。

### 【なわて BOOKS】

毎月、京都の恵文社一乗寺店さんからなわて幼稚園の図書室に届く、スタッフがお薦めする最新の絵本や話題の絵本をご紹介します。

### 【恵文社一乗寺店】

2010年にイギリスのガーディアン紙が発表した「世界でもっとも素晴らしい書店10選」に日本から唯一選ばれた京都・一乗寺にある書店。

<http://www.keibunsha-books.com/>